

公認会計士試験出願事項補正願

令和 年 月 日

公認会計士・監査審査会会長 殿

受験局：
受験番号：
〒
住所：

フリガナ
氏名：
生年月日：昭和・平成 年 月 日
電話番号：
(日中連絡可能な電話番号)
メールアドレス：

令和__年第Ⅰ回短答式試験出願後、公認会計士・監査審査会から論文式試験一部科目免除に係る免除通知書の交付を受けました。
ついては、本年の論文式試験において下記の科目の免除を申請しますので出願事項を補正願います。
※ 下線部に記入すること

記

免除を受ける科目	会計学		監査論		企業法		租税法		選択科目							
									経営学		経済学		民法		統計学	
免除要件																

(免除申請する科目の欄に「1」を記入し、免除要件は、下記の該当番号を記入してください。)

01	大学等において3年以上商学に属する科目の教授若しくは准教授の職にあった方又は商学に属する科目に関する研究により博士の学位を取得された方
02	大学等において3年以上法律学に属する科目の教授若しくは准教授の職にあった方又は法律学に属する科目に関する研究により博士の学位を取得された方
04	司法修習生となる資格（高等試験司法科試験の合格を除く。）を得た方
06	大学等において3年以上経済学に属する科目の教授若しくは准教授の職にあった方又は経済学に属する科目に関する研究により博士の学位を取得された方
07	不動産鑑定士試験に合格した方
08	税理士となる資格を有する方
09	企業会計の基準の設定、原価計算の統一その他の企業会計制度の整備改善に関する事務又は業務に従事した方で会計学に関し公認会計士となろうとする者に必要な学識及び応用能力を有すると公認会計士・監査審査会の認定を受けた方
10	監査基準の設定その他の監査制度の整備改善に関する事務又は業務に従事した方で監査論に関し公認会計士となろうとする者に必要な学識及び応用能力を有すると公認会計士・監査審査会の認定を受けた方

添付書類：受験票(原本)、公認会計士試験免除通知書（コピー）